

令和元年度
試験研究課題一覧表

令和元年8月

愛知県農業総合試験場

目 次

【作物部門】	1
【野菜部門】	4
【花き部門】	7
【果樹部門】	10
【畜産部門】	12
【茶業部門】	15
【環境基盤部門】	16
【企画経営部門】	21

※ 事業分類の凡例

補助：補助事業

受託：イノベーション創出強化研究推進事業、戦略的プロジェクト研究推進事業
等の受託研究

特性：特性調査

連携：大学との連携協定に基づく研究

共同（Ⅰ型）：共同研究

共同（Ⅱ型）：共同研究（資金供与）

戦略：戦略的重要研究

農防費：農地防災事業費

土改費：土地改良事業費

畜振費：畜産振興費

農改費：農業改良普及費

環保費：環境保全型農業推進費

農振費：農業振興費

令和元年度愛知県農林水産関係試験研究課題一覧表

【作物部門】

ア 重点研究目標 技術革新で創造する強い農業経営の確立

(ア) 研究事項 高い生産性で高収益農業を実現する技術の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
大豆多収阻害要因の診断法及び対策技術の開発	多収阻害要因実態調査	28, 29経済連、30園芸農産、31経済連	27	元	作物・環境安全・水田利用・広域指導	農研機構（中央）	受託（戦略プロ）
	有機物施用等による改善技術の開発	28経済連	27	元	環境安全・作物・水田利用		
環境に配慮した水田輪作技術の開発	輪作田における水稲・小麦・大豆の低投入・高位安定栽培技術の開発	31園芸農産課	28	2	水田利用・作物		
土地利用型作物における高品質・高収量生産体系の確立	水稲・小麦・大豆の高品質・高収量化技術の確立	31西三河普及課、31経済連	28	2	水田利用・作物		
大豆の播種時期・地域に適した栽培方法の開発	地域別の大豆の播種適期及び摘心処理基準の解明	28西三河普及課、28, 29, 30, 31経済連	31	2	作物		

(イ) 研究事項 競争力の高い低コスト生産技術の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
土地利用型作物における高品質・高収量生産体系の確立（再掲）	水稲・小麦・大豆の高品質・高収量化技術の確立（再掲）	28西三河普及課、28, 29経済連、29西三河農政課、31園芸農産課	28	2	水田利用・作物		
酪農における未利用資源利用による飼料低減技術の確立	未利用木質資源の飼料利用の検討		31	元	養牛、作物		畜振費（県）

(ウ) 研究事項 生産環境の変化に対応できる高品質安定生産技術の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
代かきによる流域汚濁防止事業	代かきを行わないV溝直播栽培の推進	30農業経営課	30	2	作物・水田利用・広域指導		環保費
	代かきほ場における濁り水流出軽減対策		30	2	環境安全・農業工学		環保費
環境に配慮した栽培管理技術の確立	環境に配慮した作物栽培管理技術の確立	28, 29西三河農政課・経済連	28	2	作物		
気候変動に対応し、高品質安定生産を実現する作物生産支援システムの構築	環境に配慮した主要農作物生産支援技術の構築	28, 29, 30園芸農産課、29知多農政課・西三河農政課、29, 30経済連、31経済連	26	元	作物		
水田輪換畑における小麦大豆生産の安定・省力化に向けた湿害対策技術の開発	水稲不耕起V溝直播栽培におけるグリホサート抵抗性ネズミダマシの防除法の開発		31	5	作物・水田利用		受託（戦略プロ）
植物生育調節剤の研究開発事業	難防除雑草除草法の検討	27, 30西三河普及課、29知多農政課	31	元	作物	日植調	受託
小麦「きぬあかり」における栽培法を中心とした赤さび病被害低減技術の開発	赤さび病被害を低減する栽培体系の確立		29	元	作物・環境安全・水田利用・広域指導		戦略
	赤さび病被害を低減する防除体系の確立	28西三河普及課、29豊田加茂普及課	29	元	病害虫・病害虫防除・広域指導		

(エ) 研究事項 次世代技術を活用した革新的生産技術の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
次世代技術を活用したあいち型水田営農強化事業	ドローン等を活用した作物生育診断システムの開発及びそのシステムを利用した精密栽培管理技術の確立	30尾張農政課・西三河農政課・29,30経済連・30園芸農産課	30	2	作物・水田利用		補助(地方創生交付金)
	栽培管理支援ツールにおける生育診断技術と生育予測技術の検証		30	2	作物・水田利用	JAあいち経済連、名古屋大学	共同(I型)
水田農業の競争力強化に向けたICT制御オートトラクタによる水稲不耕起V溝直播栽培及び小麦・大豆作業の高精度化及び省力化	ICT制御オートトラクタによる水稲不耕起V溝直播栽培及び小麦栽培の作業精度・省力化の検証		31	元	作物・水田利用	農林水産・食品産業技術振興協会 新稲作研究会	受託(新稲作)

イ 重点研究目標 消費者視点に立った新たな需要創出と食の安全を支える農業の推進

(イ) 研究事項 安全で信頼に応える農業生産を実現する技術の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
新農薬の登録試験	殺虫・殺菌剤・除草剤・植物調節剤の薬効・薬害・残留試験	28尾張普及	31	元	病虫害防除・病害虫・作物・野菜(園)・野菜(東)・花き(園)・花き(東)・落葉果樹・常緑果樹・茶業・園芸・稲作	県植防	特性(日植防、日植調等)
省力的かつ現場で使い易いコメの無機ヒ素低減技術の開発	省力的かつ現場で使い易いコメの無機ヒ素低減技術の開発		30	2	環境安全・作物	農研機構(農環研)等	受託(戦略プロ)
天然素材を活用した小麦の赤かび病及び赤さび病防除技術の開発	天然素材を活用した穀類のかび毒汚染低減化技術の創成		31	3	作物・病虫害	名古屋大学等	受託(イノベ事業)

ウ 重点研究目標 環境と調和した農業の推進と農村・地域の活性化

(ア) 研究事項 環境に配慮した持続的農業技術の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
土壌特性に基づく養分管理技術の開発	土壌カリウムの動態解明と供給力評価		31	2	環境安全・水田利用	京都府大学、名城大学	共同(I型)

(イ) 研究事項 地域の環境保全と資源の活用を図る技術の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
オンサイト小型バイオガス発電システムの要素技術開発	メタン発酵消化液の利用技術の確立		30	2	作物、花き、野菜(東)、次世代、畜産研究	アイシン精機(株)	受託(NEDO)

エ 重点研究目標 愛知の強みを活かした戦略的な品種開発による幅広い需要への対応

(ア) 研究事項 競争力の高い水田農業を確立する水稲・小麦品種の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
主要農作物の優良品種の育成・選定	気候変動に対し抵抗性を持つ品種の育成	28中央会、29園芸農産課、29,30中央会、30,31経済連	28	2	作物		
	病虫害抵抗性品種の育成	28,29,30,31経済連、29園芸農産課・尾張普及課、29,30知多農政課	28	2	作物		
	「コシヒカリ」を遺伝背景とする野生稲の染色体断片置換系統群を用いた高温登熟性に関連する染色体領域の探索-新規遺伝資源を活用した耐暑性系統の育成-			30	3	作物	ステイグリーン(株)・名古屋大学

主要農作物奨励品種決定調査	奨励品種決定調査	21, 23, 24経済連、22知多農政・普及課、16, 22西三河普及課、25尾張普及課(稲沢) 26, 27, 28中央会	31	元	作物・稲作		
遺伝子解析技術を利用した作物の優良品種の開発	温暖地東部向きの病害虫抵抗性を付与したCd低吸収性主力品種の育成		30	4	作物・環境安全	農研機構(次作)他	受託(イノベ強化事業)
耐病虫性水稲品種・育種素材の開発	斑点米カメムシによる被害を軽減できる育種素材の開発		27	元	作物・稲作・生物工学	農研機構(次作)	受託(戦略プロ)
水稲特性検定試験	いもち耐病性検定		31	元	稲作	農研機構(次作、生物機能)	特性
中食用水稲早生品種の開発	中食用水稲早生品種の育成	31知多普及課	27	元	作物・生物工学	JAあいち経済連	共同(II型)
	栽培法の確立と現地実証		30	元	作物		
小麦「きぬあかり」の品種改良事業	小麦「きぬあかり」の品種改良	31園芸農産課 31西三河普及課 31経済連	31	4	作物・生物工学		
三河中山間地域における良質米安定生産技術の開発	良質、多収、いもち抵抗性水稲品種の育成	31経済連	31	6	稲作		
	アフリカイネ品種の耐冷性の評価		30	2	稲作	名古屋大学	連携
	効果的に形質発現するイネいもち病抵抗性遺伝子の組合せの探索		31	2	稲作	農研機構(生物機能)	共同(I型)
穂いもち抵抗性強化に関する遺伝要因の解明とそれを利用した育種素材の開発	穂いもち抵抗性強化に関する遺伝要因の解明とそれを利用した育種素材の開発		28	2	稲作	農研機構(中央)・神戸大学	共同(I型)
イネ品種の遺伝的改良と評価	イネ品種の遺伝的改良と評価		29	2	稲作・作物	JIRCAS	共同(I型)
原種生産事業	奨励品種原原種栽培		31	元	作物・稲作		
	稲・麦・大豆奨励品種原種生産		31	元	水田利用		

【野菜部門】

ア 重点研究目標 技術革新で創造する強い農業経営の確立

(ア) 研究事項 高い生産性で高収益農業を実現する技術の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
特産施設野菜の生産性及び品質向上技術の確立	アオジソの夏期需要期の安定生産のためのヒートポンプ利用技術の開発	27東三河普及課・経済連	28	2	野菜(東)		
	アオジソの冬期需要期の安定生産のための環境制御技術の開発	28, 30東三河普及課、28田原普及課、28, 29, 30, 31経済連	28	2	野菜(東)		
	ミニトマトの養液管理による品質向上技術の開発	27, 29東三河普及課・27経済連	28	2	野菜(東)		
需要に対応した露地野菜の安定生産技術の開発	畑地土壌の排水性改善による露地野菜の安定生産技術の確立	31知多普及課、東三河普及課	28	2	野菜(東)		
	ブロッコリーの冬期安定生産技術の開発	26東三河普及課、26, 27経済連、28尾張普及課	28	2	野菜(東)		
	東海地域における春どり寒玉系キャベツの評価及び安定生産技術の開発		26	元	野菜(東)		
キャベツ作におけるホウ素適正管理技術の開発	アブラナ科野菜におけるホウ素適正管理技術の開発	30経済連	30	2	野菜(東)	JAあいち経済連	共同(Ⅱ型)
高温環境等を克服して日本品質を周年安定生産	トマト抑制栽培における夏越し栽培技術の確立と評価		30	2	次世代(園)・野菜(東)	農研機構(野花)トヨタネ(株)・静岡県・長野県・福井県・千葉県	受託(革新(経営体プロ))

(イ) 研究事項 競争力の高い低コスト生産技術の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
一条植全自動移植機を活用したタマネギ低コスト機械化体系の開発	一条植全自動移植機に適したタマネギ栽培方法の確立	31東三河普及課	31	3	野菜(東)・経営情報・広域指導		戦略
需要に対応した露地野菜の安定生産技術の開発(再掲)	初夏どりキャベツ体系の施肥管理技術の確立	27, 29東三河普及課、28田原普及課	29	元	野菜(東)		

(エ) 研究事項 ICTなど次世代技術を活用した革新的生産技術の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
環境制御による施設野菜の高収益生産技術の開発	環境制御下における施設トマト・ナス・イチゴの栽培管理技術の開発	24・27・29・31経済連、26田原普及課、28・29・31尾張普及課、28・29東三河普及課、31田原普及課	30	3	次世代・野菜(東)	JAあいち経済連・トヨタネ(株)	共同(Ⅱ型)
生体情報との結合による高度環境制御技術の開発	施設果菜における環境及び生育制御技術を用いた高能率・高付加価値栽培指針の作成		28	2	次世代(園)		
	水耕栽培における環境及び生育制御技術を用いた高能率・高付加価値栽培指針の作成		28	2	次世代(園)		

ICTおよびRTによる栽培管理高度化技術の開発	ICTおよびRTを利用した施設野菜の栽培支援システムの開発	29田原普及課、29中央会	28	2	次世代(園)		
画像解析を利用した施設野菜の生育診断技術の開発	画像解析を利用したトマト生育診断技術の開発	31田原普及課	31	2	次世代(園)	(株)ITAGE・(株)IT工房Z・農研機構(生機)	受託(新連携)

イ 重点研究目標 消費者視点に立った新たな需要創出と食の安全を支える農業の推進

(イ) 研究事項 安全で信頼に応える農業生産を実現する技術の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
新農薬の登録試験(再掲)	殺虫・殺菌剤・除草剤・植物調節剤の薬効・薬害・残留試験	24,25中央会、26,27尾張普及課	31	元	病害虫防除・病害虫・作物・野菜(園)・野菜(東)・花き(園)・花き(東)・落葉果樹・常緑果樹・茶業・園芸・稲作	県植防	特性(日植防、日植調等)
フキ中のピロリジジナルカロイド類の低減に関する調査研究	フキ中のピロリジジナルカロイド類の蓄積を抑制する栽培方法の開発		30	2	野菜(園)	農研機構(食)、群馬県、徳島県、東京家政学院大学	受託(安全な農林水産物安定供給のためのレギュラトリーサイエンス研究)

ウ 重点研究目標 環境に調和した農業の推進と農村・地域の活性化

(イ) 研究事項 地域の環境保全と資源の活用を図る技術の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
園芸作物の安定生産に向けた肥料の開発と施肥技術の確立(再掲)	リン酸が蓄積した施設野菜栽培圃場に適したかん水同時施肥技術の開発		30	2	野菜(園)	JAあいち経済連	共同(Ⅱ型)
オンサイト小型バイオガス発電システムの要素技術開発	メタン発酵消化液の利用による露地野菜生産安定技術の確立		31	2	野菜(東)・畜産環境	アイシン精機(株)	受託(NEDO)
	メタン発酵消化液の利用による施設野菜生産安定技術の確立		31	2	次世代(園)・経営情報・広域・作物・花き・畜産環境	アイシン精機(株)	受託(NEDO)

(ウ) 研究事項 中山間等地域農業の活性化を目指した技術の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
中山間地に適した施設園芸の高収益生産技術の開発	夏秋トマトにおける高品質・多収栽培法の開発	27,29,30,31新城設楽普及課	27	元	園芸		
			30	2	園芸	JAあいち経済連・トヨタ(株)	共同(Ⅱ型)
中山間地に適した露地園芸の高収益生産技術の開発	ジネンジョにおける省力的高品質栽培法の開発	27新城設楽普及課	27	2	園芸		
	地域特産野菜の栽培技術の開発	29新城設楽普及課	27	2	園芸		
中山間地域の新規就農促進に向けたジネンジョの安定生産技術の開発	中山間地域の新規就農促進に向けたジネンジョの安定生産技術の開発	27,31新城設楽普及課	29	元	園芸・環境安全・広域	経済連	共同(Ⅰ型)戦略
ジネンジョの褐変物質の探索と褐変物質低減に向けた栽培技術の確立	ジネンジョの褐変物質の探索と褐変物質低減に向けた栽培技術の確立	31豊田加茂普及課	29	元	環境安全・園芸	茨城大学	共同(Ⅰ型)

エ 重点研究目標 愛知の強みを生かした戦略的な品種開発による幅広い需要への対応

(イ) 研究事項 全国屈指の施設野菜産地を活性化する品種の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
施設野菜産地を支える品種開発	漬物加工特性を持つナス品種の育成	23東三河普及課、24西三河普及課、25,26,27尾張普及課	29	3	野菜(園)		
	複合病害抵抗性を持つ単為結果性トマト品種の育成	25,26,27中央会、27尾張普及、28東三河普及	31	5	野菜(園)		
	高温期で着果性に優れ、複合病害抵抗性を持つトマト品種の育成	26尾張普及課	29	4	野菜(園)		
施設野菜の多収栽培技術の確立	新品種を利用した生産技術の確立	20西三河普及課、23豊田加茂普及課、30農協中央会	26	元	野菜(園)		
大果多収性で炭疽病抵抗性を備えたイチゴ促成栽培用品種の育成	素材品種・系統間の交雑、大果多収性・早生性及び炭疽病抵抗性による選抜、有望系統の現地適応性試験及び市場性調査	28,29尾張普及課(稲沢)、31海部普及課、29西三河普及課(西尾)、28豊田加茂普及課、28,29東三河普及課、28,29,30,31農協中央会、29,30,31経済連	27	3	野菜(園)	JAあいち経済連	共同(Ⅰ型)
海外植物遺伝資源の遺伝特性解析・収集	キュウリ遺伝資源の特性評価		30	4	野菜(園)	農研機構(生)	受託(戦略プロ)
	ナス遺伝資源の半枯病抵抗性評価と種子増殖		30	4	野菜(園)	農研機構(生)	受託(戦略プロ)
	ラオス植物遺伝資源の探索		31	元	野菜(園)	農研機構(生)	受託(戦略プロ)
野菜育成系統評価試験	新規育成系統の特性及び系統適応性検定		31	元	野菜(園)	農研機構(野花)	特性
	野菜新品種系統委託試験(全日本野菜品種審査会)		31	元	野菜(東)	日本種苗協会	特性
園芸種苗基核苗生産事業	イチゴ無病苗増殖		31	元	野菜(園)		
	フキ無病苗増殖		31	元	野菜(園)		
	ジネンジョの無病苗増殖		31	元	園芸		

【花き部門】

ア 重点研究目標 技術革新で創造する強い農業経営の確立

(ア) 研究事項 高い生産性で高収益農業を実現する技術の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
花きの高生産・高品質技術の開発	カーネーションの施肥等栽培方法の改善による高生産技術の開発	28東三河・田原普及課、31西三河(西尾)普及課、29、31経済連	28	2	花き(園)		
	クルクマの施肥管理や被覆資材の選定など栽培環境の改善による安定生産技術の開発	28、29、31西三河普及課	28	2	花き(園)		
	洋らん類の日持ち性向上による高品質化及び栽培条件の改善による出荷期拡大技術の開発	28東三河普及課	28	元	花き(園)		
冬季におけるキクの生産性向上技術の開発	CO ₂ 施用等を用いた生産性向上技術の開発	31西三河普及課(西尾)・経済連	31	3	花き(東)	豊橋技科大	共同(I型)
	LED補光による生産性向上技術の開発	31経済連	31	3	花き(東)		
	厳寒期の温度管理方法による生産性向上技術の開発	31東三河普及課・経済連	31	3	花き(東)		
短時間変温管理法に基づく主要花き類の周年安定生産技術の開発	短時間変温管理法に基づく主要花き類の周年安定生産技術の開発	30東三河普及課	29	元	花き(東)	農研機構(野花)	受託(農食研究)
花きの生産及び安定供給技術の実証事業	カーネーションのBA処理後の仕立て方法による品質向上、増収技術の実証	31尾張(稲沢)普及課	31	元	花き(園)	愛知県花きイノベーション地域協議会	受託(次世代花き)

(イ) 研究事項 競争力の高い低コスト生産技術の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
花きの低コスト生産技術の開発	低温で栽培特性を持つ鉢物品目の選定と生産安定技術の開発		28	2	花き(園)		

(ウ) 研究事項 生産環境の変化に対応できる高品質安定生産技術の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
国際競争力強化のための低コスト高温対策技術の開発	低コスト高温対策+ゼロ濃度差CO ₂ 施用に適したバラ栽植方式の開発		27	元	花き(園)		
	コチョウランの低コスト高温対策技術の開発		27	元	花き(園)	農研機構(野花)、豊橋技科大、岐阜、トヨハシ種苗	受託(戦略プロ)
	バラ、コチョウランの現地実証研究		27	元	花き(園)、広域指導		
夏季安定生産に対応できるキクの新品種・生産技術の開発	耐暑性に優れたキク新品種の育成	28、29尾張普及課(稲沢)、28知多普及課、29、30、31経済連	28	2	花き(東)		
	低コストな高温対策によるキクの夏季安定生産技術の開発	31経済連	31	3	花き(東)		
短時間変温管理法に基づく主要花き類の周年安定生産技術の開発(再掲)	短時間変温管理法に基づく主要花き類の周年安定生産技術の開発(再掲)	30東三河普及課	29	元	花き(東)	農研機構(野花)	受託(農食研究)

キクの高品質生産・安定出荷技術の開発	育成系統等の環境の変化に対応した安定生産技術の開発	28田原普及課、31東三河普及課	30	2	花き(東)		
--------------------	---------------------------	------------------	----	---	-------	--	--

(エ) 研究事項 次世代技術を活用した革新的生産技術の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
国際競争力強化のための低コスト高温対策技術の開発(再掲)	低コスト高温対策+ゼロ濃度差CO ₂ 施用に適したバラ栽植方式の開発(再掲)	28尾張普及課・東三河普及課	27	元	花き(園)	農研機構(野花)、豊橋技科大、岐阜、トヨハシ種苗	受託(戦略プロ)
花きの高度環境制御システムの開発(再掲)	施設園芸の栽培環境改善技術の開発	31経済連	31	元	花き(園)東三河(花き)	花き生産供給力強化協議会	受託(次世代花き)
花きの高度環境制御システムの開発(再掲)	バラ切り花栽培における環境制御と養液管理技術の確立	31経済連	31	3	花き(園)		

イ 重点研究目標 消費者視点に立った需要創出と食の安全を支える農業の推進

(ア) 研究事項 消費者・実需者のニーズに応える生産技術の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
花きの新需要を創出する技術の開発	日持ち性向上や新規性のある鉢物の導入による消費者ニーズにマッチした鉢物栽培技術の開発		28	2	花き(園)		
	新規花形ギクの鉢物としての栽培技術の確立		31	2	花き(園)		
「かがり弁ギク」の生産・供給体制強化と高付加価値化	出荷期拡大に資する技術の開発		31	元	花き(東)、園芸		受託(次世代花き)
	高付加価値化とイメージアップ		31	元	花き(東)、経営情報、広域指導		受託(次世代花き)
花きの生産及び安定供給技術の実証事業(再掲)	アジサイ主要品種のエチレン感受性に関する品種間差の検討		31	元	花き(園)	愛知県花きイノベーション地域協議会	受託(次世代花き)
	日持ち性を向上させる品質管理技術、温度管理技術の実証		31	元	花き(園)		

(イ) 安全で信頼に応える農業生産を実現する技術の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
新農薬の登録試験(再掲)	殺虫・殺菌剤・除草剤・植物調節剤の薬効・薬害・残留試験	25,26,27,28中央会	31	元	病虫害防除・病害虫・作物・野菜(園)・野菜(東)・花き(園)・花き(東)・落葉果樹・常緑果樹・茶業・園芸・稲作	県植防	特性(日植防、日植調等)

ウ 重点研究目標 環境に調和した農業の推進と農村・地域の活性化

(イ) 研究事項 地域の環境保全と資源の活用を図る技術の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
オンサイト小型バイオガス発電システムの要素技術開発	花きにおけるメタン発酵消化液の利用技術の確立		31	2	作物、花き(園)、野菜(東)、次世代、畜産研究	アイシン精機(株)	受託 (NEDO)

(ウ) 研究事項 中山間等地域農業の活性化を目指した技術の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
中山間地に適した露地園芸の高収益生産技術の開発 (再掲)	小ギクの安定生産技術の開発	27新城設楽普及課(新城)、28, 30, 31豊田加茂普及課	27	2	園芸		
	地域在来花きにおける安定生産技術の開発	28新城設楽普及課(新城)	27	2	園芸		
中山間地に適した施設園芸の高収益生産技術の開発 (再掲)	中山間地に適した鉢花の新たな栽培技術の開発	27新城設楽普及課(新城)	27	2	園芸		

エ 愛知の強みを活かした戦略的な品種開発による幅広い需要への対応

(ウ) 研究事項 日本一の花き産地を支える品種の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
花きの県オリジナル新品種の開発	カーネーションの新品種育成	20, 21, 23, 24, 26, 27, 28, 29, 31経済連、29西三河	31	2	花き(園)		
	バラの新品種育成	29経済連	31	2	花き(園)		
低温伸長性・低温開花性を有するキク品種の開発	低温伸長性・低温開花性品種の育成	26, 27, 28, 29, 30, 31経済連、27知多普及課・豊田加茂普及課・田原普及課、28尾張普及課(稲沢)、28, 29中央会	28	2	花き(東)		
夏季安定生産に対応できるキクの新品種・生産技術の開発 (再掲)	耐暑性に優れたキク新品種の育成	28, 29尾張普及課(稲沢)、28知多普及課、29, 30, 31経済連	28	2	花き(東)		
新規需要に対応できる品種・技術の開発	スプレーギクのオリジナル品種・技術の開発	29経済連	28	2	花き(東)		
	輪ギクのオリジナル品種・技術の開発	29経済連	28	2	花き(東)		
キク矮化病抵抗性を有するスプレーギク新品種の開発	交配による抵抗性新系統の作出	29経済連	28	2	花き(東)	イノチ精興園(株)	共同(Ⅱ型)
	新系統の有用性評価及び選抜	29経済連	28	2	花き(園)・生物学・花き(東)	イノチ精興園(株)	共同(Ⅱ型)
耐暑性や良日持ち性を有するスプレーカーネーションの開発	DNAマーカーを活用した耐暑性や良日持ち性を有するスプレーカーネーションの開発		29	3	花き(園)	農研機構(野菜花き)	共同(Ⅰ型)

【果樹部門】

ア 重点研究目標 技術革新で創造する強い農業経営の確立

(ア) 研究事項 高い生産性で高収益農業を実現する技術の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
本県で導入を推奨するブドウ・ナシ・モモ品種の選定とその栽培技術の確立	導入を推奨するブドウ品種の栽培技術の確立	22尾張普及・西三河普及、29東三河普及	28	2	落葉果樹		
	導入を推奨するナシ品種の栽培技術の確立	28西三河普及	28	2	落葉果樹	愛知工業大学	共同（I型）
	導入を推奨するモモ品種の栽培技術の確立	20尾張普及、29尾張普及（稲沢）・豊田加茂普及	28	2	落葉果樹		
イチジクの安定生産技術の確立	イチジクの樹勢に合わせた枝梢管理による安定生産技術の確立	19西三河普及、20東三河普及、21, 28, 29経済連、30知多普及	18	2	落葉果樹		
イチジクのL型配合肥料を利用したリン酸・カリ過剰圃における肥培管理技術の開発	植物体の窒素、リン、カリの動態解析及びイチジク樹の生育及び収量への影響	30西三河普及・経済連	30	2	落葉果樹	JAあいち経済連	共同（I型）
カンキツの効率的施肥技術の確立	肥効調節型肥料と少量多頻度かん水による屋根かけ樹上完熟栽培「不知火」の収量増加技術の確立		30	4	常緑果樹		
カンキツの省力・低コスト・高品質生産技術の確立	カンキツ「夕焼け姫」の露地栽培における高品質安定生産技術の確立	29東三河普及	28	2	常緑果樹		
	カンキツ「みはや」の高品質安定生産技術の確立	27東三河普及	28	2	常緑果樹		
	炭酸ガス施用によるハウスミカン の収量増加技術の確立	30東三河普及、30経済連	30	2	常緑果樹		

(イ) 研究事項 競争力の高い低コスト生産技術の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
果樹栽培における省力化・軽労化技術の確立	カキ・ナシ等の植調剤利用・仕立て法改善による省力化・軽労化技術の確立	20豊田加茂・東三河普及、22東三河普及、21, 24西三河普及	20	2	落葉果樹		

イ 重点研究目標 消費者視点に立った需要創出と食の安全を支える農業の推進

(イ) 研究事項 安全で信頼に応える農業生産を実現する技術の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
新農薬の登録試験（再掲）	殺虫・殺菌剤・除草剤・植物調節剤の薬効・薬害・残留試験		31	元	病害虫防除・病害虫・作物・野菜（園）・野菜（東）・花き（園）・花き（東）・落葉果樹・常緑果樹・茶業・園芸・稲作	県植防	特性（県植防、日植調等）
新農薬の登録試験（GLP）	GLP制度が適用される農薬の作物残留試験		31	元	落葉果樹常緑果樹		

ウ 重点研究目標 環境と調和した農業の推進と農村・地域の活性化

(ア) 研究事項 環境に配慮した持続的農業技術の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
病虫害の総合的管理技術の開発	新規誘引資材によるイチジクのアザミウマ類防除技術の開発		30	元	病虫害・落葉果樹	協友アグリ(株)	共同(I型)

エ 重点研究目標 愛知の強みを活かした戦略的な品種開発による幅広い需要への対応

(エ) 研究事項 多様な消費者ニーズに応え産地を強化する果樹品種の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
ブドウ・イチジク・ナシの本県オリジナル品種の育成	ブドウのオリジナル系統の開発	24中央会	19	2	落葉果樹		
	イチジクのオリジナル系統の開発	23東京事務所・西三河普及・豊田加茂普及・27知多普及・中央会・経済連	23	2	落葉果樹		
	ナシのオリジナル品種の開発	25豊田加茂普及	19	2	落葉果樹		
育種手法の効率化と販売戦略の探求によるオリジナルイチジク品種の開発	イチジクのオリジナル系統(雌花系統)の開発		31	3	経営情報生物工学落葉果樹		戦略
カンキツの優良品種の育成及び選定	高品質なウンシュウミカン品種の開発		28	2	常緑果樹		
	高品質な露地栽培向け中晩生カンキツ品種の開発	17東三河普及、27中央会	12	2	常緑果樹		

【畜産部門】

ア 重点研究目標 技術革新で創造する強い農業経営の確立

(ア) 研究事項 高い生産性で高収益農業を実現する技術の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
繁殖機能の制御・解析による繁殖効率改善技術の開発	繁殖機能の制御・解析による繁殖効率改善技術の開発		31	4	養牛		
	牛の鳴き声による個体識別及び発情発見支援等応用技術の開発		30	3	養牛	愛知県立大学	共同(I型)

(イ) 研究事項 競争力の高い低コスト生産技術の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
酪農における未利用資源利用による飼料低減技術の確立	未利用木質資源の飼料利用の検討	28畜産課	28	元	養牛		県単+畜振費(県)
	トモロコシの二期作栽培技術の実証	26畜産課	27	2	養牛		
黒毛和種肥育牛の収益性強化技術の開発	愛知県内の黒毛和種繁殖雌牛の育種価解析		31	3	養牛		
	生産性向上のための飼養管理技術の開発		31	4	養牛		
乳用牛の泌乳平準化とAIの活用による健全性向上技術の開発	乾乳期短縮技術の高度化による乾乳期飼養省力化と分娩後の健全性の向上		29	2	養牛	農研機構(北)	受託(革新(AIプロ))
飼料の効率的利用による鶏卵肉の低コスト生産技術の確立	タンパク質分解酵素剤を利用した飼料利用性改善技術の開発		31	3	養鶏	JAあいち経済連	共同(I型)
特産家さんの飼養管理技術	卵用名古屋コーチンの生産性を向上させる育成技術の開発		30	2	養鶏		
	育雛期の飼料用米給与による肉用名古屋コーチンの発育改善	28名古屋コーチン協会、29畜産総合センター	28	元	養鶏		
	肉用名古屋コーチンにおけるビール酵母給与技術の開発		31	2	養鶏	名古屋市南部食鶏加工組合	共同(I型)
未利用資源飼料化技術の開発	肉用名古屋コーチンにおける未利用資源利用方法の開発	28畜産課	28	元	養鶏		畜振費(県)
生産性の高いウズラ飼養管理技術の確立	ウズラにおける飼料用米利用技術の確立	28東三河農政課、26,28東三河普及課	28	2	養鶏		
産卵期のウズラにおける魚粉配合量低減化技術の開発	産卵期のウズラにおける魚粉配合量低減化技術の開発		28	2	養鶏	JAあいち経済連	共同(I型)

(ウ) 研究事項 生産環境の変化に対応できる高品質安定生産技術の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
牛の効率的種畜増産技術の確立	E T技術を活用した効率的牛生産技術の確立	29畜総セ	28	2	養牛		
	黒毛和種繁殖雌牛の胸囲差による栄養度推定と繁殖成績との関連性の解明		31	2	養牛		

(エ) 研究事項 ICTなど次世代技術を活用した革新的生産技術の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
豚人工授精の高度化に関する研究	豚凍結精液利用システムの確立	28, 29畜産課	27	2	養豚		
豚受精卵の利用技術に関する研究	豚受精卵の利用技術の確立	27, 29畜産課、27田原普及課	28	2	養豚		
特産家さんの飼養管理技術	ドップラーセンサによる計測技術の開発		29	元	養鶏	愛知県立大学	共同(I型)
卵用名古屋コーチンの改良	画像処理利用による鶏卵の評価技術の開発		30	2	養鶏	愛知工業大学	共同(I型)

イ 重点研究目標 消費者視点に立った新たな需要創出と食の安全を支える農業の推進

(ア) 研究事項 消費者・実需者のニーズに応える生産技術の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
系統豚交雑種の飼養管理技術の確立	系統豚を利用した交雑種の飼養管理技術の確立	29, 30経済連、29田原普及課	29	元	養豚		
	開発中デュロック種を利用した交雑種の飼養管理技術の確立	29経済連	30	5	養豚		
消費者ニーズに対応した高品質な鶏卵肉生産技術の開発	名古屋コーチン鶏肉の特性の解明	30尾張普及課	28	2	養鶏		
	名古屋コーチン鶏卵の風味特性の解明		29	元	養鶏	中部大学連携協定	

ウ 重点研究目標 環境に調和した農業の推進と農村・地域の活性化

(イ) 研究事項 地域の環境保全と資源の活用を図る技術の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
地場産業の食品製造副産物を用いた豚肉生産方法の確立	肉豚における発酵食品副産物の給与技術	28畜産課	28	元	養豚		畜振費(県)
脱臭機能性資材の利用による悪臭対策技術の確立	脱臭機能性資材の効果的な利用方法の解明	28畜産課・知多農政課	29	元	畜産環境		
簡易で低コストな畜産汚水中のN・P低減技術の開発	畜産汚水中のNとP低減技術を組み込んだ浄化システムの開発	28知多普及課	28	2	畜産環境		
産業廃棄物等を利用した良質な堆肥生産技術の確立	未利用植物系資源を活用した堆肥化促進技術の開発	28畜産課・豊田加茂普及課	28	2	畜産環境		県単+畜振費(県)
オンサイト小型バイオガス発電システムの要素技術開発	メタン発酵消化液の浄化と利用に向けた調製技術の確立		31	2	畜産環境	アイシン精機(株)	受託(NEDO)
	メタン発酵消化液の利用に関する経営的評価と耕畜連携方策(案)の作成		31	2	経営情報、広域指導		
	メタン発酵消化液の利用技術の確立		31	2	作物、花き、野菜(東)、次世代		
鳥の行動特性の解明	総合的な悪臭低減、臭気拡散防止技術の開発	30知多普及課	30	4	畜産環境 広域指導	農研機構(畜、中央、九沖)、栃木県、石川県、新潟県、宇都宮大、信州大学、榑中嶋製作所、中部エコテック(株)、朝日工業(株)、半田市酪農組合、知多農林	受託(戦略プロ)

エ 重点研究目標 愛知の強みを活かした戦略的な品種開発による幅広い需要への対応

(オ) 研究事項 愛知のブランド力を高める系統豚・名古屋コーチン系統の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究 開始年	研究 終了年	担当研究室	共同研究先・ 委託元	事業分類
産肉性に優れたデュロック種系統豚の開発	産肉性に優れたデュロック種の閉鎖群育種による系統造成	28畜産課、28畜総セ、28、29経済連、29養豚農協、29東三河普及課	28	4	養豚		
肉用名古屋コーチンの改良	増体性と産卵性能に優れた名古屋コーチン種鶏の開発	27、28、29、30畜産総合センター、29名古屋コーチン協会	29	8	養鶏		
	(名古屋コーチン系統間における遺伝的多様性の評価)		29	元	養鶏	名古屋大学連携協定	
卵用名古屋コーチンの改良	卵用名古屋コーチンの卵質改良	26経済連、29尾張普及課、29知多普及課	25	2	養鶏		
	卵用名古屋コーチンの性能調査	25畜産課、26経済連	25	2	養鶏		
プロラクチン遺伝子の発現制御因子と就巢行動の解明	プロラクチン遺伝子の発現制御因子と就巢行動の解明		27	3	養鶏	麻布大学	共同 (I型)

【茶業部門】

ア 重点研究目標 技術革新で創造する強い農業経営の確立

(イ) 研究事項 競争力の高い低コスト生産技術の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
整せん枝及び被覆法の改良によるてん茶の高品質安定生産技術の開発	摘採期拡大のための秋整枝及び最適被覆法の検討	29豊田加茂普及 30園芸農産課	28	2	茶業		
碾茶におけるCNF・CNT複合体による遠赤外線放射特性を利用した高品質及び効率的な乾燥方法の開発	CNF・CNT複合体による遠赤外線放射が碾茶製造工程における乾燥効率及び製茶品質に及ぼす影響の解明		31	3	茶業	東京大学、 あいち産業科学 技術総合セン ター等	受託（異分野融合発展研究）

イ 重点研究目標 消費者視点に立った新たな需要創出と食の安全を支える農業の推進

(ア) 研究事項 消費者・実需者のニーズに応える生産技術の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
茶の輸出を拡大するための有機質資材の効率的施用技術の開発	かん水による肥効向上技術の開発	31園芸農産課	30	2	茶業		
	有機質肥料の種類が碾茶の生育、品質に及ぼす影響の解明		31	2	茶業		
食品加工向けに適したてん茶生産技術の開発	優れた葉色のための被覆法、整枝法の検討	29、31園芸農産課・31西三河普及課	28	2	茶業		

(イ) 研究事項 安全で信頼に応える農業生産を実現する技術の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
茶における輸出相手国の残留農薬基準に対応した防除技術の開発	有機栽培防除体系の構築及び評価	27、31園芸農産課	30	2	茶業	農研機構(果茶)	受託（革新(先端プロ)）
新農薬の登録試験(再掲)	殺虫・殺菌剤・除草剤・植物調節剤の薬効・薬害・残留試験		31	元	病害虫防除・病害虫・作物・野菜(園)・野菜(東)・花き(園)・花き(東)・落葉果樹・常緑果樹・茶業・園芸・稲作	県植防	特性調査(県植防、日植調等)

【環境基盤部門】

ア 重点研究目標 技術革新で創造する強い農業経営の確立

(ア) 研究事項 高い生産性で高収益農業を実現する技術の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
大豆多収阻害要因の診断法及び対策技術の開発(再掲)	有機物施用等による改善技術の開発	28, 29経済連、30園芸農産	27	元	環境安全・作物・水田利用	農研機構(中央)	受託(戦略プロ)
	多収阻害要因実態調査	28経済連	27	元	作物・環境安全・水田利用・広域指導		

(ウ) 研究事項 生産環境の変化に対応できる高品質安定生産技術の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
小麦「きぬあかり」における栽培法を中心とした赤さび病被害低減技術の開発(再掲)	赤さび病被害を低減する栽培体系の確立		29	元	作物・環境安全・広域指導		戦略
	赤さび病被害を低減する防除体系の確立	28西三河普及課、29豊田加茂普及課	29	元	病害虫・病害虫防除・広域指導		
A Iを活用した病害虫診断技術の開発	キュウリの画像データ収集と検証	30尾張普及課	29	2	病害虫・病害虫防除・広域指導	農研機構(中央)等	受託(戦略プロ)

イ 重点研究目標 消費者視点に立った新たな需要創出と食の安全を支える農業の推進

(イ) 研究事項 安全で信頼に応える農業生産を実現する技術の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
遺伝子解析技術を利用した品種、病害虫等の識別、診断技術の開発	LAMP法による病害虫診断技術の開発		28	元	生物工学		
	病害検定法の開発を目指した異科接ぎ木技術の評価		30	元	生物工学・花き(園)	グランドグリーン(株)	共同(I型)
	ゲノム情報を活用した県産農産物の品種・系統識別技術の開発	31海部普及課	31	元	生物工学		
μ TASを利用した農作物病害等の一括遺伝子診断システムの開発	LAMPマーカーの改良		31	3	生物工学	国立大学法人豊橋技術科学大学	受託(知の拠点重点プロ)
	μ TASの開発		31	3	生物工学		
	μ TASの実証		31	3	生物工学・広域指導		
病害虫の総合的管理技術の開発(再掲)	カーネーションの害虫に対する天敵利用技術の確立	31知多普及課	31	3	病害虫		
天然素材を活用した小麦の赤かび病及び赤さび病防除技術の開発(再掲)	天然素材を活用した穀類のかび毒汚染低減化技術の創成		31	3	作物・病害虫	名古屋大学等	受託(イノベ事業)
農業残留対策総合調査	土壌残留性農薬の後作物に対する影響評価		31	元	環境安全	エスコ	受託(環境省農薬残留対策総合調査)

農作物有害動植物発生予察事業 (植物防疫事業交付金)	指定有害動植物発生予察事業		31	元	病害虫防除		農改費
	指定有害動植物の発生予察手法の 開発と調査		31	元	病害虫		
	ミバエ類等侵入警戒調査		31	元	病害虫防除		農改費
	ブラムボックスウィルスの発生 調査		31	元	病害虫防除		農改費
農作物有害動植物発生予察事業 (補助)	マイナー作物の農薬残留分析調査		31	元	病害虫防除		農改費
	マイナー作物の防除体系の確立 事業	25, 26, 27, 28, 29, 30中央会	31	元	病害虫防除		農改費
農作物有害動植物発生予察事業	重要病害虫発生予察事業		31	元	病害虫防除		農改費
	重要病害虫の発生予察手法の開 発と調査		31	元	病害虫		
	農作物有害鳥獣調査		31	元	病害虫		
新農薬の登録試験 (再掲)	殺虫・殺菌剤・除草剤・植物調 節剤の薬効・薬害・残留試験	25, 26, 27, 28, 29, 30中央会	31	元	病害虫防 除・病害 虫・作物・ 野菜 (園)・野 菜(東)・ 花き (園)・花 き(東)・ 落葉果樹・ 常緑果樹・ 茶業・園 芸・稲作		特性(県植防、 日植調等)
新農薬の登録試験 (再掲) (GLP)	GLP制度が適用される農薬の作物 残留試験		31	元	落葉果樹 常緑果樹		
輸出植物検疫協議迅速化事業輸 入	輸出植物検疫協議迅速化事業		31	元	病害虫防除	農研機構(中央 農研)等	農改費
病害虫の防除に直結する発生予 察体制への転換委 託事業	病害虫調査データ収集アプリ ケーションの実証調査		31	元	病害虫防除	農研機構(中 央)	農改費
省力的かつ現場で使い易いコメ の無機ヒ素低減技術の開発	省力的かつ現場で使い易いコメ の無機ヒ素低減技術の開発		30	2	環境安全・ 作物	農研機構(農環 研)等	受託(戦略プ ロ)
肥料取締事業	肥料取締事業		31	元	環境安全		農改費(県)
マイナー作物農薬登録加速化 事業			31	元	環境安全		農改費(国)

ウ 重点研究目標 環境と調和した農業の推進と農村・地域の活性化

(ア) 研究事項 環境に配慮した持続的農業技術の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究 開始年	研究 終了年	担当研究室	共同研究先・ 委託元	事業分類
家畜ふん堆肥の有効活用技術の開 発	家畜ふん堆肥の有効活用による 減肥技術の開発		28	2	野菜(東)		
緑肥の肥効に基づいた施肥管理 技術の開発	緑肥を活用した施肥量削減技術 の開発	27尾張普及課	28	元	野菜(東)		
夏まき緑肥作物の利用による窒 素溶脱低減と野菜の減肥技術	緑肥作物を活用した露地野菜畑 における窒素負荷低減技術の開 発	30東三河普及 課・田原普及課	27	元	野菜(東) ・広域指導	農研機構(中 央)	受託(戦略プ ロ)
可給態窒素の迅速診断に基づく 窒素施肥の適正管理	野菜畑における可給態窒素の評 価に基づく施肥技術の開発	30経済連	27	元	環境安全・ 野菜(東) ・広域指導	農研機構(中 央)	受託(戦略プ ロ)
	畑土壌における土壌養分の動態 解明と管理技術の開発		31	4	環境安全		

土壌特性に基づく養分管理技術の開発（再掲）	水田土壌における土壌養分の動態解明と管理技術の開発		31	4	環境安全		
	土壌カリウムの動態解明と供給力評価		31	2	環境安全・水田利用	京都府大、名城大	共同（I型）
	土壌起源、土壌蓄積性養分の動態解明と肥効評価		31	2	環境安全	農研機構（農環研）	共同（I型）
肥料・農薬の環境動態解析と負荷低減技術の開発	土壌中における農薬の分解促進技術の開発		30	2	環境安全		
農地土壌温室効果ガス排出量算定基礎調査事業（農地管理技術実証）	一酸化二酸化窒素排出削減のための農地管理技術検証		29	2	環境安全	農研機構（北）	受託（農地土壌炭素貯留等基礎調査事業）
農地土壌温室効果ガス排出量算定基礎調査事業（農地管理実態調査）	農地管理実態調査		29	4	環境安全		補助（農地土壌炭素貯留等基礎調査事業）
病害虫の総合的管理技術の開発（再掲）	ダイズにおけるチョウ目害虫の防除対策		30	2	病害虫		
	コナガの薬剤感受性検定	27経済連	27	元	病害虫		
	コナガ等の遺伝子解析による薬剤抵抗性検定		30	元	病害虫		
	キャベツ菌核病の防除技術の確立	29中央会	29	2	病害虫・広域指導		
	イチゴ炭疽病菌の殺菌剤耐性菌検定と防除体系の確立	30知多普及課	30	2	病害虫・広域指導		
新規誘引資材によるイチジクのアザミウマ類防除技術の開発		30	元	病害虫・落葉果樹	協友アグリ(株)	共同（I型）	
代かきによる流域汚濁防止事業（再掲）	代かきを行わないV溝直播栽培の推進	30農業経営課	30	2	作物・広域指導		環保費
	代かきほ場における濁り水流出軽減対策		30	2	環境安全・農業工学		環保費

（イ）研究事項 地域の環境保全と資源の活用を図る技術の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
環境と調和に配慮した農業農村整備事業実施のための評価法の確立	環境DNAによるモニタリング法と評価法の開発	29農地計画課	30	3	農業工学・生物工学		土改費
環境DNA等を利用したモニタリング技術等の開発	LAMP法を用いた侵略的外来生物のオンサイト検知手法の開発		31	3	生物工学・農業工学	農環研	戦略プロ
水田の機能強化技術の開発	水田の畦畔からの漏水防止技術の開発	28農地計画課	28	2	農業工学		県単＋農防費
土地改良計画調査（統制調査）	新規需要米栽培である飼料用米の栽培における水需用実態の把握	29農地計画課	29	元	農業工学		土改費
	水稲のV溝直播栽培における水需要実態の把握	30農地計画課	31	3	農業工学		土改費
農業用水の安定した送水技術の確立	FRPM管における漏水事故の原因究明	29農地整備課	30	2	農業工学		土改費
遺伝子解析技術を利用した品種、病害虫等の識別、診断技術の開発（再掲）	畜産汚水の脱窒菌の定量		29	元	生物工学		
産業廃棄物等を利用した良質な堆肥生産技術の確立（再掲）	未利用植物系資源を活用した堆肥化促進技術の開発	28畜産課・豊田加茂普及課	28	元	畜産環境・環境安全		県単＋畜振費（県）

(ウ) 研究事項 中山間等地域農業の活性化を目指した技術の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
カラス被害対策技術の開発	鳥獣侵入防止柵の開発	30知多普及・西三普及・豊田普及課・新城設楽普及課・東三普及課	31	3	病害虫・広域指導	未来のアグリ(株)、(株)IT工房Z、本多電子(株)、サイボート(株)、中部大学	戦略、共同(I型)
	鳥獣侵入警報システムの開発		31	3	病害虫・広域指導		
鳥獣被害防止総合対策事業(鳥獣被害防止総合対策交付金)	新技術実証活動		31	元	病害虫・広域指導		農振費
鳥獣害防止対策技術の開発	音を用いた追い払い技術の開発		30	2	病害虫・広域指導		農振費
	集落点検及び殺処分迅速化技術の開発		30	2	病害虫・広域指導		
中山間地域の新規就農促進に向けたジネンジョの安定生産技術の開発(再掲)	中山間地域の新規就農促進に向けたジネンジョの安定生産技術の開発	27新城設楽普及課 30尾張普及課、30西三河普及課	29	元	園芸・環境安全・広域		戦略
	ジネンジョ用全量基肥栽培技術の開発		31	元	園芸・環境安全	経済連	共同(I型)

エ 重点研究目標 愛知の強みを活かした戦略的な品種開発による幅広い需要への開発

(ア) 研究事項 競争力の高い水田農業を確立する水稻・小麦品種の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
耐病水性水稻品種・育種素材の開発(再掲)	斑点米カメムシによる被害を軽減できる育種素材の開発		27	元	作物・稲作・生物工学	農研機構(次作)	受託(戦略プロ)
育種目標とする形質に連鎖するDNAマーカーの開発と変異誘導等の細胞操作による育種素材の作出(再掲)	水稻の高温耐性マーカーの開発		28	元	生物工学		
	麦類病害抵抗性等の育種選抜マーカーの開発		30	元	生物工学		
中食用水稻早生品種の開発(再掲)	中食用水稻早生品種の育成		27	元	作物・生物工学	JAあいち経済連	共同(II型)
	栽培法の確立と現地実証		30	元	作物		
	炊飯・加工適性評価		30	元	作物		
麦類の病害防除技術の開発(再掲)	耕作前のウイルス汚染診断技術の開発		31	3	生物工学・作物	長野県・農研機構(北農)・(東北)・(次作)・(九沖)・ListenField(株)	受託(イノベ事業)(予定)
	ウイルス系統別のマーカー開発		31	3	生物工学・作物		
	ウイルス系統別の感染診断と系統開発(再掲)		31	3	作物・生物工学		

(イ) 研究事項 全国屈指の施設野菜産地を活性化する品種の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
育種目標とする形質に連鎖するDNAマーカーの開発と変異誘導等の細胞操作による育種素材の作出(再掲)	高温期で着果性に優れ、複合病害抵抗性を持つトマト品種の育成		28	元	野菜(園)・生物学		

(ウ) 研究事項 日本一の花き産地を支える品種の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
キク矮化病抵抗性を有するスプレーギク新品種の開発(再掲)	交配による抵抗性系統の作出		28	2	花き(東)	イノチオ精興園(株)	共同(Ⅱ型)
	新系統の有用性評価及び選抜		28	2	花き(園)・生物学・花き(東)		
育種目標とする形質に連鎖するDNAマーカーの開発と変異誘導等の細胞操作による育種素材の作出(再掲)	花き育種素材の開発を目指した異科接ぎ木技術の評価		29	元	生物学・花き(園)	グランドグリーン(株)	共同(Ⅰ型)

(エ) 研究事項 多様な消費者ニーズに応え産地を強化する果樹品種の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
育種手法の効率化と販売戦略の探求によるオリジナルイチジク品種の開発(再掲)	イチジクの品種識別マーカーの開発		29	元	生物学・落葉果樹	名古屋大学	連携、戦略
	イチジクの果実形質に関わるDNAマーカーの開発		31	3	生物学・落葉果樹		戦略

【企画経営部門】

ア 重点研究目標 技術革新で創造する強い農業経営の確立

(イ) 研究事項 競争力の高い低コスト生産技術の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
一条植全自動移植機を活用したタマネギ低コスト機械化体系の開発	キャベツ生産経営体の生産費事例収集		31	3	野菜(東)・経営情報・広域指導		戦略

(エ) 研究事項 次世代技術を活用した革新的生産技術の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
技術革新の成果等を導入した新たな経営モデルの作成	次世代技術の導入事例収集及び経営モデルの試作	31尾張普及	28	2	経営情報		
乳用牛の泌乳平準化とAIの活用による健全性向上技術の開発(再掲)	酪農場における泌乳平準化による健全性向上効果の経済評価		29	2	経営情報、養牛	農研機構(北)	受託(革新(AIプロ))

イ 重点研究目標 消費者視点に立った新たな需要創出と食の安全を支える農業の推進

(ア) 研究事項 消費者・実需者のニーズに応える生産技術の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
イチジクの高品質安定生産と新商材の開発による産地ブランドの創出	イチジク消費拡大のためのPR・販売方法の調査と整理		30	元	経営情報、広域指導		農改費
イチジクのブランド化手法の構築	農産物のブランド化や販売成功事例の収集と分析		31	3	経営情報		戦略

ウ 重点研究目標 環境と調和した農業の推進と農村・地域の活性化

(イ) 研究事項 地域の環境保全と資源の活用を図る技術の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
オンサイト小型バイオガス発電システムの要素技術開発(再掲)	消化液利用技術および浄化処理技術の開発		31	2	畜産環境、経営情報、広域指導、作物、花き、野菜	(株)アイシン精機	受託(NEDO事業)